

会議結果報告書

平成30年12月21日

会議の名称	第2回志木市環境審議会
開催日時	平成30年12月21日（金） 14時00分～15時30分
開催場所	志木市役所4階 第三委員会室
出席委員	増田幸宏委員、大村相哲委員、金子亮委員、清水宏之助委員、竹前栄二委員、田中満男委員、星野博之委員（計7名）
欠席委員	笠井泰孝委員、堂本泰章委員、毛利将範委員（計3名）
議題	委嘱状交付 第三期志木市環境基本計画（案）について諮問 会長あいさつ 議題 （1）第三期志木市環境基本計画策定について （2）その他
結果	議題の通り、第三期志木市環境基本計画（案）について事務局より概要を説明し、本編全体について審議会委員の皆様より意見を頂戴した。頂戴した意見をもとに本案を修正し、庁議を経たのち、最終案について意見公募に出すことを確認した。
事務局職員	香川市長（途中退席）、醍醐市民生活部長（途中退席）、小日向環境推進課長、桜谷主幹、田中主事補 （計画策定業務受託者：（株）環境総合研究所 寺山、藤本） （計 6人）

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1. 開 会

2. 委嘱状交付

香川市長より、委嘱状を交付した。

3. 諮問：第三期志木市環境基本計画（案）について諮問

香川市長より、増田委員長へ、志木市環境基本計画策定案について諮問を行った。

4. あいさつ

会長あいさつ

5. 議題

（1）第三期志木市環境基本計画策定について

事務局より、計画案について概略と訂正箇所について説明。

（訂正箇所）

- ・ p. 8 に掲載している地図について、河川の位置に違いがあるため、修正する。
- ・ p. 40 コラムのふれあいの森について、市場ふれあいの森は今年度で廃止になるため、計画からは削除する。
- ・ p. 50 2. 計画の進行管理について、掲載順を（1）志木市環境審議会、（2）志木市環境市民会議、（3）事務局（市民生活部環境推進課）とする。

【審議内容】

- 委 員：
- ・ p. 5 表に示されている志木市将来ビジョンにおける関連施策の「資源循環型のまちづくり」だけフォントが小さいように見えるので、修正をお願いする。
 - ・ p. 8 掲載地図に、スケールと方位を入れてほしい。
 - ・ p. 17 10年前と現在とを比較して、温暖化に対する適応策が重要視されるようになってきており、そのことについては計画の本文にも記載がある。そこに追加で、温暖化には緩和策と適応策があること、それぞれの内容、現在では適応策が重要となっていることを、市民の方がわかりやすいように記載して欲しい。また、適応策の一例が表にまとめてあるが、見慣れないものもあるように感じたので、表現方法を確認していただきたい。
 - ・ p. 18 10年後の志木市に記載されている内容についても、緩和策と適応策がわかるようにしてほしい。
 - ・ p. 23 省エネルギーの推進については、家庭部門と業務部門で分けられる部分もあるため、分ける必要性を検討してもらいたい。
 - ・ p. 27 “気象災害”という言葉は、今年を象徴するような言葉である。そのため、この言葉については、補足説明を入れてもいいと思う。

・本計画には p. 29 空き家対策についても明記しており、大変良いことだと思う。
ぜひ、空き家対策については都市整備部と連携して進めてほしい。

・ p. 31 一般施策の中に「災害に強く安心できるまちづくりを推進します」という表記があるが、最近では“災害に強い”ではなく“災害に負けない”と表記することが増えている。この表記は、ある程度の被害や想定外のことは避けられないというところから“負けない”という強靱化を表す言葉が使われるようになってきているようである。その表現にしてほしい。

委員：・ p. 21 施策展開に「4 R の推進」があるが、レジ袋の削減やマイバッグの持参を市で取り組んでいるはずであるが、計画の中にそれに関する記載が見当たらなかった。どこかに記載してもいいと思う。

・ p. 43 「環境教育の現状」に関して、市民環境大学も3年にわたって実施しているため、次頁の施策目標だけでなく、現状にも記載してほしいと思う。

事務局：・レジ袋の削減については、本計画を作成した際、プラスチック類に含まれるものとしてのレジ袋と解釈していたため、マイバッグやレジ袋という文言を明記していなかった。ご指摘の通り掲載の方向で検討する。

毎年実施しているものではなかったため、本計画への記載を控えていたが、“時期をみて開催”など、記載方法を検討する。

委員：・ p. 12 望ましい環境像「ずっと住み続けたい、人と川の快適なまち」について、人が快適なのか、人と川が調和することで快適なのか、解釈が難しい。

・ p. 15 温室効果ガス排出量のグラフについて、このグラフでは2015年度までのデータしか出ていないが、これが最新なのか。

事務局：・この案を作成したときの最新データである。また、p. 29 二酸化窒素濃度の実績値についても2015年度のデータを記載しているが、これについては市で実施している調査が3年に1度であるためである。

委員：・本計画では、“4 R”を推進すると謳っているが、“5 R”という考え方もあるにも関わらず、10年後も“4 R”のままでいいのか、疑問に思う。

・本文の中に“里山”という文言が記載されているが、一般の方は“里山”がわからないと思うので、コラムなどで解説を入れてもいいのではないかと思います。

・ p. 42 田子山富士塚の写真が掲載されているが、これが県の指定文化財であることも記載した方がいいと思う。

委員：望ましい環境像は、どこかで決まったものなのか。

事務局：市民会議で意見を頂戴して決まったが、まだ修正は可能である。

委員：・望ましい環境像のイメージは湧くが、少々わかりづらいので、表現を再検討していただきたい。

・4 Rについて、今後10年間で5 Rに取り組む可能性があるのであれば、記載してもいいのではないかと。

事務局：一般施策の中では、5個目のRである“リペアを視野に入れた4R”を推進するという表記をしている。

委員：5Rにしない理由は何か。

委員：国では3Rで取り組んでいるが、他の審議会でも、3Rか4Rかという議論を行ったことがあるほか、5Rや7Rとして取り組んでいるところもある。増えればいいのかというと、増やしても覚えられず、覚えるよりも実践してもらうことが大事であると考えている。4Rにしても、リデュースとリフューズの境界線が説明できるのかという問題があり、ここに関してはリデュースの中でも断ることを示すリフューズが大事であるため、特化しているが、これを説明するよりも、3Rとして取り組むほうが覚えやすく、実践しやすく、拡大解釈もできると思う。

委員：リペアもリフューズもリデュースに入るものである。

委員：リサイクル率が下がっている理由を教えてください。

事務局：可能性として考えられるのは、掲載しているリサイクル率は、組合に搬入されてきたものを基に出しているため、新聞紙などを自主回収してリサイクルしているケースは数値として出ていないほか、全体的なごみ排出量自体が減少してきていることもある。また、新聞の売り上げ自体の減少や、マンション等が独自で行っている回収もあり、複合的な要因からなっていると考えられる。

委員：その背景を踏まえると、リサイクル率が下がっているからと言って、悪いこととも限らないと感じる。

委員：リサイクル率を上げる施策はあるのか。

事務局：分別を推進していく施策として展開している。

委員：リサイクル率のグラフは後退しているように見えてしまうため、あえて載せる必要もないと思う。または補足説明を加えるなどしたほうがいい。

事務局：ご指摘の通り再考する。

委員：p.40 コラムに、荒川河川敷及びその周辺にはヨシ原が広がっていると記載があるが、このヨシ原は民地であるため、ここに記載しないほうがいい。

事務局：ご指摘の通りに修正する。

委員：p.2 SDGsの考え方を計画で取り入れていると記載があるが、SDGsのどの部分が計画と関係してくるのか、明確に表記すると思う。

事務局：その通り検討する。

委員：p.17 マイクロプラスチックの問題について触れているが、志木市を流れている河川の魚などから、マイクロプラスチックが確認される事例などはあったか。

事務局：志木市では確認されていない。

委員：p.29 空き家等に関して、志木市空き家等バンク制度とはどういった制度か。

事務局：地権者の方から貸したい、売りたいという物件を登録して頂き、市のHPなどで宣伝し、借りたい人、買いたい人に利用していただく制度である。

委員：現在の登録件数や、制約などはあるのか。

事務局：現在は5件の登録があり、制約のようなものはまだない。

委員：p.18 施策目標として具体的な目標値が示されているが、国や県の施策に左右される部分でもある。この目標値は、設定の根拠はあるか。

事務局：リサイクル率の30%については、多少努力目標となるが、現在の23.2%を踏まえ設定した。プラスチックごみ排出量の25%減というのは、現在国が25%削減と掲げているため、国と整合をとった結果である。

委員：p.29 河川のBODの値はなかなか対策が立てられないと感じる。河川の水は上流から流れてきてしまうので、市では対策に限界がある。

委員：プラスチックごみを出さないのと、出た分は回収するという両方の取組が重要である。

委員：p.29 公害苦情件数には、多い項目や、年によって変わる項目はあるのか。

事務局：件数が多いのは騒音である。特に工事の騒音が多い。

委員：以上で審議の方は終了とする。

(2) その他

今後の日程について、事務局より説明。

【説明内容】

1月11日（金）まで、委員の皆様より追加のご意見をいただき、それを修正したものが最終案となる。修正した案は委員の皆様へ一度配布する。その最終案を庁内の部長級以上のものと市長、副市長に目を通してもらう。これが1月末くらいになる。その後2月よりパブリックコメントに出し、それを踏まえた修正後、3月に製本というスケジュールで考えている。

6. 閉会

以上